



未来は、ミルクの中にある。
雪印メグミルク

2019年3月期 第2四半期

決算報告

2018年11月8日

2019年3月期 第2四半期		連結損益計算書		(億円)
	2018年3月期 上期	2019年3月期 上期	増減額	
売上高	3,035	3,053	+18	
営業利益	110	95	▲14	
営業外損益	+8	+7	▲0	
経常利益	117	102	▲15	
特別損益	▲6	▲11	▲6	
税引前利益	111	90	▲20	
純利益※	71	64	▲7	

※親会社株主に帰属する当期純利益

増減要因
【特別損益】
➤ 災害による損失 : ▲6億円

雪印メグミルク Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved. 2

【連結損益計算書】

2019年3月期 第2四半期の当社グループの売上高は 3,053億円、前期比 18億円の増収、営業利益は 95億円、前期比 14億円の減益です。

親会社株主に帰属する当期純利益におきましても、災害による損失約6億円を計上し、減益となりました。

2019年3月期 第2四半期		連結営業利益増減要因の内訳			
2018年3月期 上期	2019年3月 上期	増減額	主なセグメント別の増減額		
110億円	95億円	▲14億円	乳製品 ▲2億円	飲料・ デザート類 ▲12億円	飼料・種苗 ▲1億円
増益要因 合計		+20	+16	+3	+1
販売単価差		15	+14	0	+1
製品構成差		5	+2	+3	0
減益要因 合計		▲34	▲18	▲15	▲2
固定経費の増加		▲10	▲3	▲6	0
オペレーションコストの増加		▲9	▲3	▲6	0
販売物量減少による利益減		▲7	▲10	3	▲2
原材料コストの増加		▲6	▲5	▲1	0
宣伝促進費の増加		▲1	3	▲4	0

(補足) 主な要因を記載しています。内訳の詳細は、決算短信の補足情報をご参照ください。

雪印メグミルク Copyright © Megmilk Snow Brand Co., Ltd. All Rights Reserved. 3

【連結営業利益の増減要因の内訳（実績）】

乳製品セグメントでは、チーズの価格改定・容量変更を実施し、増益要因は概ね想定通りとなりました。一方、原料乳コストの増加や販売物量減少による利益減などにより、トータルでは前期比2億円の減益となりましたが、上期予想からはプラス2億円となりました。

飲料・デザート類セグメントでは、機能性ヨーグルトなどによるプロダクトミックスの改善が計画に達しなかったこと、加えて、オペレーションコストなどのコストアップ要因の増加によりトータルで前期比12億円の減益となりました。上期予想からも▲5億円となりました。

結果として、増減益ネットでは、前期比14億円の減益、上期予想からは、▲1億円となりました。地震や台風などの影響はありましたが、ほぼ当初予想通りの着地となりました。

2019年3月期 第2四半期 連結貸借対照表				(億円)			
	2018年 3月期	2019年 3月期 第2四半期	増減額		2018年 3月期	2019年 3月期 第2四半期	増減額
流動資産	1,421	1,462	+41	流動負債	1,406	1,418	+11
固定資産	2,091	2,085	▲5	固定負債	532	511	▲20
総資産 3,548億円 (前期比 +35億円)				純資産	1,573	1,618	+44

増減要因	
【流動資産】	
➢ 売上債権 :	+68億円
➢ 現金預金 :	▲16億円
➢ たな卸資産 :	▲8億円
【固定資産】	
➢ 投資有価証券 :	+13億円
➢ 固定資産 :	▲16億円

【流動負債】	
➢ 短期借入金 :	+11億円
【固定負債】	
➢ 長期借入金 :	▲19億円
【純資産】	
➢ 株主資本 :	+43億円

自己資本比率	44.9%
--------	-------

雪印メグミルク Copyright © Megmilk Snow Brand Co.,Ltd. All Rights Reserved. 4

【連結貸借対照表】

資産合計は3,548億円 前期末比35億円の増加です。
 流動資産の増加は、売上債権が季節性の要因で、
 68億円増加したことが主な要因です。
 固定資産の減少は、減価償却の進捗により、
 有形無形固定資産が16億円減少したことが主な要因です。

負債合計は、1,929億円、前期末比9億円の減少です。
 借入金が（ネットで8億円）減少したことが主な要因です。

純資産合計が1,618億円、前期末比44億円の増加です。
 利益剰余金が40億円増加したことなどによるものです。

連結経営数値ですが、連結自己資本比率は44.9%、
 前期末比で0.8ポイント改善しています。

2019年3月期 第2四半期		連結キャッシュ・フロー計算書		(前期)
営業CF +118億円	主な内訳			
	税金等調整前四半期純利益	90億円		+108億円
	減価償却費	77億円		
	売上債権の増減額 (▲は増加)	▲69億円		
投資CF ▲91億円	有形及び無形固定資産の取得による支出		▲97億円	▲58億円
財務CF ▲39億円	借入金が増減額		▲8億円	▲100億円
	配当金の支払額		▲27億円	
現預金増減額 ▲12億円		有利子負債		742億円

【連結キャッシュ・フロー計算書】

次にキャッシュ・フローについて、説明いたします。
 営業活動によるキャッシュ・イン118億円と、
 投資活動によるキャッシュ・アウト (▲) 91億円、
 さらに財務活動によるキャッシュ・アウト (▲) 39億円の結果、
 現預金残高が (▲) 12億円減少いたしました。

未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。